



# みなみおか

第4号  
2020.5.1  
発行



## 5月に入りました!

～3月から子どもたちの声が聞こえなくなった学校ですが、安心して登校できるまで、いろいろな準備をして待っています。～

## みなさん、毎日をどのように過ごしていますか?

桜の花はすっかりかれてしまいましたが、新芽が出てきてぐんぐん成長しています。1番目の写真の○が新芽で、2番目の写真の○はもう少しで葉になるところです。3番目の写真○は花が散ってさくらんぼのような実になっています。□のところには、かれかけている花も少し見えますね。こうして、桜の花は散っても、木はどんどん成長し、次の年に美しい花を咲かせようと準備をしています。桜の木は花が咲いているときはもちろんとても美しいですが、新緑のきれいな葉も何となくエネルギーをもらえそうで、見ていると元気になります。もし、近くの公園に桜の木があれば、観察してみてください。



学校は3月からお休みに入りとても静かです。4月にはみなさんと会えるのを楽しみにいろいろと準備をしていました。そのことを、4月の始業式には伝えようと思っていたのですが、残念ながら直前に中止となったので、学校だよりで伝えることにします。

みなさんが、6年間で学ぶ内容は「学習指導要領」に定められています。この学習指導要領は時代の変化に合わせてだいたい10年ごとに見直されています。今年は、見直されて新しくなった「学習指導要領」で学習していく1年目にあたります。今回は、学ぶ内容だけでなく、学び方も変わります。例えば、新しく習う漢字が、これまで小学校では1006字だったの



が1026字になり、20字増えます。増えた漢字は都道府県に関する字ですね。新潟の「潟」、栃木の「栃」など難しいですね。他にも、5,6年生は外国語の時間が1時間増え週2時間になり、3,4年生は毎週1時間あります。算数も、5年生で学ぶ「割合」が一部4年生で学ぶことになったり、6年生で学ぶ「速さ」が5年生で学ぶことになったり…と、他の教科でも学ぶ内容が変わっています。

でも、一番大きな変化は、学び方が変わることです。これまで、何を知っているか(知識)や何ができるか(技術や技能)が重視されてきました。だから、一つの単元が終わると、きちんと覚えているかなあ…学んだことができるかなあ…というテストをして評価があったと思います。でも、これからは、「知識や技術・技能」だけでなく、どうしてこうなるのかなあと自ら課題を見つけたり、その課題解決に向けて筋道を考えたり、いろいろな角度から答え(答えは必ずしも一つではない)を見つけ出したりするなどの、これまで「総合的な学習の時間」でやっていた学び方をどの教科でも導入していくことになります。それを、「主体的・対話的で深い学び」と言いますが、先生が主導で授業を進めるのではなく、子どもたちが自分たちで授業をつくっていくことが求められます。今、ちょうど学校が休みですので、新しい教科書を開いてちょっと準備をしてくれるといいなあと思っています。



一人できなぶ

そこで、子どもたちが自分たちで勉強を進めるためには担任の先生が代わっても、学び方は同じであることがとても大事ななあと考え、今まで学年で統一していた学び方をできるだけ学校で統一していこうと決めました。まずは、国語の漢字と算数の計算は基本ですので、自分でしっかりと力がつけられるように、これまで丁寧に先生が見ていましたが少し手を放して、自分で頑張れるように指導していくことにしました。そのために、学校で使用する副教材(漢字の学習帳やドリルなど)を決め、自分で学べるように指導することから始めることにしました。一人で学ぶというのは、自分で学び、練習して、合っているかどうかを確かめ、できてないところを更に練習するということです。学年の発達段階に応じて学習できるように指導していきますが、ゴールは中学校へ行っても大丈夫なように一人で学ぶことのできる力を付けることですので、6年生は新しく習う漢字をドリルで学習し、ドリルノートで練習し、学校での小テストを受け、間違ったところを自分で学びなおしをして確認するということになります。4月から取り組もうとしていたことを紹介します。《裏面につづく》



れんしゅう



たしかめ・テスト



ふいかえり・学びなおし

○漢字の学習については、漢字ドリル・漢字のたしかめ（小テスト）・漢字ドリルノートを活用して学ぶ。1，2年は、漢字ドリルノートの代わりに漢字の学習を活用する。

○計算練習は、計算ドリル・計算ドリルノートを活用して学ぶ。

○テストは、1，2年は国語と算数、3，4年は国語と算数と理科、5，6年は国語と算数と理科と社会を購入し、単元ごとテストを実施する。テストを実施した後は、テストファイルに綴じ、学びを重ねていき、学期ごとの振り返りを行う。

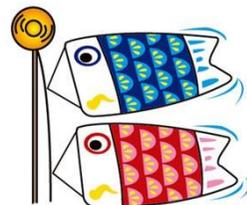
基本的なことは繰り返さないと身につけません。考えること（思考すること）の基礎になることですので、是非頑張ってください。これからの授業は、学校で仲間と共に学ぶことにより更に考えが深まったり、広がったりすることを大切にしていきますので、これまでのように繰り返し練習に時間をかけることはできません。小学校1年生から少しずつ、自分でできることを頑張っていきましょう。

でも、どうしても一人ではむずかしいなあ・・・と思ったら、担任の先生に相談しましょうね。一人でできるようになるまで、しっかりとサポートしていきたいと思っています。



新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大を防ぐため、学校は臨時休業中ですが、子どもたちが日々どのように過ごしているか、とても気になっています。おそらく、医療に関わっておられる方やその方を支えるため様々な仕事をしておられるご家庭は大変な状況だと思えます。そんな中で、おうちの人が帰ってくるまで、我慢しながら待っている子や下の子のめんどうを見ながら頑張っている子などいろいろな子どもの姿が目に見えます。また、休みだとしても外出規制があるなかで、一日家の中で過ごすのにもう限界が…という子もいるでしょう。

このまま休業措置が続くようであれば、各ご家庭へ電話連絡し、お子さまとお話をさせていただこうと思っています。1年生は入学式以来お話ができていない状況でしたので、4月30日に連絡させていただきました。その折にはご協力よろしくお願ひします。また、学校からホームページ上に担任の先生からの学年だよりや様々な情報を提供しています。中には、おうちの人が帰ってこれないと見ることができない子もいると思います。いろいろとご心配やご苦勞をおかけしていますが、何かお困りのことがあれば遠慮なく学校に連絡ください。平日、学校は必ず開いていますので、よろしくお願ひいたします。



大阪府市町村立小中学校等の児童・生徒等、保護者及び学校関係者の皆さんへ

新型コロナウイルス対策にご協力をいただき、感謝申し上げます。

本日、内閣総理大臣から大阪府内全域に対し、5月6日（水）までの約1か月を期間とする「緊急事態宣言」が出されました。それを受け、「第11回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議」において、「大阪府緊急事態措置」が決定されました。

府民の皆さんに対して、医療機関への通院や、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、職場への出勤など、生活の維持のために必要な場合を除き、外出の自粛をお願いするとともに、生活の維持に必要なものを除く全てのイベント（祭礼や文化的イベント、スポーツ行事など）、規模や場所に関わらず、開催の自粛などを要請することが主な内容です。まさに、かつて経験したことがない事態です。

その中で、学校等については、「4月8日（水）から5月6日（水）までの間を臨時休業とすること」について、改めて決定するとともに、「4月8日（水）以降に予定されている入学式等は延期すること」となりました。

また、「登校日を設定して分散登校を実施すること」になっていましたが、これについては残念ながら「当面の間は実施しないこと」と変更になりました。「ただし、大阪の新型コロナウイルスの感染状況や専門家の意見を踏まえ、必要に応じて今後の実施の可否を判断する」としています。

前回も申し上げましたように、この登校日は、臨時休業中の学校と子どもたちや保護者とのつながりを保つ重要な取組みです。できるだけ早期に実施できるよう、知事と協議を進めてまいります。

今回の「緊急事態宣言」は、コロナウイルスの爆発的な感染拡大を瀬戸際で食い止めるために、この時期にこそ、府民の皆さんの意識や行動の変容が不可欠であるとの判断のもとで出されたものです。学校等に関するこうした決定は、学校現場や子どもたち、保護者の皆さんへの影響が大変大きいのは間違いありませんが、その趣旨に鑑みますと、私自身、やむを得ないと受け止めざるを得ません。学校の再開を楽しみにされていた皆さんには、引き続き、大変申し訳ないことになりました。お詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

感染拡大で休業措置が長引くことは、子どもたちや保護者、学校関係者の皆さんにとって、本当に辛い局面が続きます。私をはじめ教育関係者が皆その辛さを共有しています。

どうか一日も早く学校に子どもたちの笑顔が戻る日が来るよう、皆で一丸となって頑張りましょう。

令和2年4月7日（火）

大阪府教育長 酒井 隆行